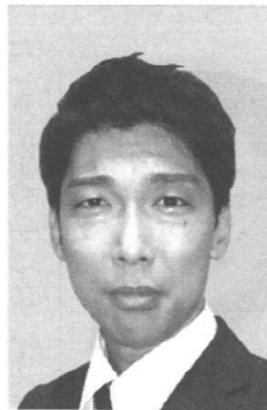


火葬技術管理士の存在意義



開邦工業

たまよせ 玉寄 将 つよし

球規模の環境問題をとり
えて、実際の火葬場の運
営方針を立てることも重
要だ。

理想の火葬場として、
地域の方々の手によって
運営される「地域密着型
の斎場」をイメージして
いるが、環境保全と様々
な公害の種類を学ぶこと
によって、理想のイメー
ジへ近づくのではないかと
考えている。

通信教育では、これら
の点について非常に多く
の項目を設けて学習でき
ようになっているの
で、火葬業務に関する目
的は達成できている。

火葬炉メーカー各社の
炉を見て、実際に火葬に
携わる方から意見を聞き
情報交換をすることは、
そのまま普段使っている
自分達の炉を知ること
になる。もちろん一緒に見
学する受講生の皆さんか
ら、新たな発見をたくさ
ん頂くことができる。

歴史の中で人類が成長
し、精神的な豊かさが求
められるようになってか
ら、火葬は社会的意義を
持つようになったと思
う。受講中に「火葬従事
職員は火葬という人生に
おける最終通過儀礼の執
行者」という教えに気付
いた時は感動した。

存在意義

筆者は、火葬炉の製
造、メンテナンスをする
会社に勤務しており、火
葬技術管理士通信教育を
修了しその後の経験に基
づき、火葬技術管理士の
存在意義について考えて
みたい。

きっかけ

当社は、沖縄県と茨城
県でそれぞれ6炉ずつの
火葬炉の運転管理をして
いる。会社の運営にもか
かわっている筆者自身が
火葬に関する知識を得る
必要があったことから、
07年に2級コース、08年
に1級コースをそれぞれ
受講した。

初めて火葬炉の運転に
かかわった時から、この
仕事には正しい知識と考
え方が必要と感じてい

た。筆者は機械系の技術
者ではなかったことか
ら、火葬炉の構造や電
気、機械の仕組み、化学
的なことに関して一から
勉強する必要があった。
通信教育の受講によっ
て最も興味を引いたの
が、火葬に関する歴史や
考え方のことだった。遺
体を火葬する時に思う神
聖な心持ちを解析してみ
たかった。

火葬の歴史

古今東西の火葬の歴史
について学習すること
は、大局的に火葬という
行為をどう考えることが
できるので、火葬業務に携
わる方にはぜひ知って
もらいたい。
そもそも火葬という行
為に対する考え方や、善し

また、「墓地、埋葬等
に関する法律」について
学習する場合、条文をそ
のまま読むのではなく、
火葬に関する歴史的な背
景を理解することで、学
習の促進につながった。

燃焼学

筆者は化学が苦手だ
が、ダイオキシン類の知

技術者としての優秀さで 人間としての豊かさも備え

理を知っていれば、なぜ
再燃焼が必要なのか、
再燃焼炉はこういう使い
方をすればよいのかが理
解できる。

環境保全

今後火葬場を運営する
上で、環境問題は密接に
関わってくる問題と言え
る。前述したダイオキシ
ン類のほかに、六価クロ
ム問題についても正確な
知識が必要だと思う。地

施設見学

日本環境斎場協会の勸
めもあり、関東関西で3
回の施設見学ができた。
火葬に関する基本的なこ
とは通信教育で学習する
ことができるが、現場で
の具体的な細かい点につ

この学習を通して、排

いては、施設見学をする
ことで自身の方になるこ
とを実感できた。例えば
普段使っている火葬炉で
わずかな変化があった
ら、これは別の斎場で見
た状況と似ていると考え
るだけでも冷静な判断に
つながる。

火葬炉メーカー各社の
炉を見て、実際に火葬に
携わる方から意見を聞き
情報交換をすることは、
そのまま普段使っている
自分達の炉を知ること
になる。もちろん一緒に見
学する受講生の皆さんか
ら、新たな発見をたくさ
ん頂くことができる。

ある④環境問題について
の知識を持つ必要がある
⑤墓地、埋葬等に関する
法律等の法的事項を理解
する必要がある⑥ダイオ
キシン類等に代表される
公害問題について研究す
る必要がある⑦火葬場運
営のための危機管理をす
る必要がある、など技術
者として以外の部分で
も、実に多くの要求を満
たしていかなければなら
ない存在である。しか
し、このような多種多様
の知識を持つべき存在で
ありながら、もう一つ最
も重要な条件を満たして
いなければならないこと
がある。

筆者は、それを「崇高
な精神を求め続ける者で
あること」と考えてい
る。人生における最終通
過儀礼の執行者であるた
めに、求められる姿勢で
はないだろうか。

火葬技術管理士の存在
意義とは、「技術者とし
て優秀な者であるという
表面上の部分」と、「人
間として精神的な豊かさ
を持つ」という内面の部
分、この両方を兼ね備
えることで達せられる社
会的役割ではないかと思
う。